

今年度の島根県小学校長会長を務めさせていただきました。県内百九十九名の校長同士のつながりを大切にして島根県の小学校教育の充実を図り、子供たちの健やかな成長のために努力してまいります。

一 スローガンについて

昨年度末に次期学習指導要領が文部科学省から告示され、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」や「教育課程の実施・評価・改善を行なうカリキュラム・マネジメントの実現」など、変化の激しい時代を生きていく今の子供たちに必要な資質・能力を、どのように育していくのかにつ

二 今年度の活動について
本会理事会は、各市郡を代表する理事と本部役員をメンバーとし、年四回

いて具体的に示されました。
今年度は、各校でその趣旨を周知徹底するとともに、来年度からの先行実施に備えてカリキュラムの編成を行う重要な年になります。そこで、今年度のスローガンを「つながり 創る 未来への礎 来への礎 今しまねの子供たちに」とし、島根県の小学校長がつながりをもつて情報交換をしながら、各校の教育課程を創造し、未来をたくましく生きていく礎を島根県の小学生に育む一年にしたいと考えます。

二 今年度の活動について



「つながり 創る 未来への礎、今しまねの子供たちに」

島根県小学校長会長

橋 本 健 司
(松江市立法吉小学校)

校長会報

平成29年度 第1号
発行所
島根県小学校長会
事務局
松江市母衣町55
県教育会館内
TEL (0852) 27-8530
FAX (0852) 67-3360

開催しています。また、総務、調査研究(調査)、対策、広報の四部会を開き具体的な計画を立てています。

○総務部

全連小理事会の情報発信、県教委との懇談会、会員数減少に対応する更なるスリム化の検討、HPの開設準備等を行っていきます。

○調査部

研究会開催について検討を行います。今年度は十月六日に、第五十九回島根県小学校長会研究大会(益田大会)が開催されます。主管である益田市校長会から実施要項をご提案いただきました。実践研究をご提案していただきました。校長先生方には、大変お世話になります。

○対策部

中学校長会と教育条件改善対策委員会を組織し、県教委への要望活動を行っていきます。今年度は、小学校長会が主担当となり、現場の声を行政に届けていきます。

○広報部

本会の活動の情報、県教委からの情報、学校運営の実践資料、会員の声など、紙面によってつながりを深める広報活動を行っていきます。

会員相互や関係機関等とのつながりを重視し、皆様が学校経営ビジョンを構築できるようバックアップする島根県小学校長会でありたいと考えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

県小学校長会の存在意義に
思いを馳せながら

前島根県小学校長会長

古川康徳

四月二十八日に行われた本年度第一回の理事会をもつて、会長の任を終えました。昨年度、「先を見据え、足元を固める校長会」というスローガンを掲げ、県下の校長先生方の協力を得て、何とか大役を終えることができました。この紙面をお借りし、心より感謝申し上げます。

さて、地方自治体全体に蔓延する緊縮財政の流れから、教育、校長会に対する補助金の縮減が続いています。このような状況の中で、県小学校長会の存在意義そのものを問う声も聞かれます。そういう意味で、校長会の事業内容やその成果についてできるだけ情報発信してきたつもりでしたが、今思えば、十分でなかつたという反省もあります。一人の声は小さく施策に反映されることもありませんが、各市郡・県の校長会が一致団結して、声を上げて

いけば、県下の子どもたちの教育の充実につながっていきます。遅々たる歩みの中にも、三十五人学級の実現や特別支援教育の充実など、これまででも確かな実績が積み上げられています。今後益々の県小学校長会の発展を切に祈りながら、退任の挨拶といたします。

つながる校長会をめざして

副会長 鈴木理生

(松江市立古志原小学校)



今年度、県小学校長会副会長を仰せつかりました。県小学長会に携わらせていただいて、今年で四年目になります。微力ではございますが、会の発展のために全力で務めさせていただこうと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

さして、今年度のスローガンにある「つながり」については、県内、中国地区、全国の会員とのつながりを通して、全国の動向を常に視野に入れながら、我が島根の教育を推進する必要性を意味しています。私は、平成二十六年度から二年間、全連小の組織の一つである調査研究部の教育課程委員会に所属し、教育に関する諸課題について、経年、あるいは新規に調査研究を実施してきました。簡単に言うと、毎年三月に全校長宛に届く、B5版の「研究紀要」の編集に関わってきました。年五回の上京は、一見楽しそうにも思われますが、そのほとんどが日帰り出張であり、さらに、次の会までの宿題を持つての帰郷ということもあり、そんなに楽しいものではありませんでした。しかし、こうした活動を



通して、全国の校長と「つながり」をもてたことは、大きな財産となりました。私が所属した教育課程委員会は各ブロックの代表十二名で構成されました。その中で島根とは異なる教育事情を知ることができ大変参考になりました。真剣に議論を重ねる中で全国との「つながり」を感じた二年間でした。

た。また、この「研究紀要」は、全国の校長先生への調査を基に考察を加えたものです。本県でも毎年七十校の校長先生に調査依頼をしています。そして全連小は、この「研究紀要」を基に文科省が設置する専門家会議に対しても意見表明を行っていることを思うと、一校長の意見も今まで「つながり」をもつて伝えることも重要なことです。

さて、橋本会長のもと、「つながり」が、全力で取り組む所存です。どうかよろしくお願ひいたします。

さて、橋本会長のもと、「つながり」が、全力で取り組む所存です。どうかよろしくお願ひいたします。

さして、橋本会長のもと、「つながり」をもつて伝えることも重要なことです。この一年間、副会長として、会員の方針の中で示されています。

「またとない好機」に恵まれて

副会長 山口和芳

(江津市立津宮小学校)



今年度、県小学校長会副会長を仰せつかりました。県小学長会に携わらせていただいて、今年で四年目になります。微力ではございますが、会の発展のために全力で務めさせていただこうと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

さして、今年度のスローガンにある「つながり」については、県内、中国地区、全国の会員とのつながりを通して、全国の動向を常に視野に入れながら、我が島根の教育を推進する必要性を意味しています。私は、平成二十六年度から二年間、全連小の組織の一つである調査研究部の教育課程委員会に所属し、教育に関する諸課題について、経年、あるいは新規に調査研究を実施してきました。簡単に言うと、毎年三月に全校長宛に届く、B5版の「研究紀要」の編集に関わってきました。年五回の上京は、一見楽しそうにも思われますが、そのほとんどが日帰り出張であり、さらに、次の会までの宿題を持つての帰郷ということもあります。しかし、こうした活動を

副会長として

副会長 高野芳雄

(出雲市立四絡小学校)



今年度、県小学校長会副会長を務めることになりました。微力ではございますが、全力で取り組む所存です。どうかよろしくお願ひいたします。

さて、橋本会長のもと、「つながり」が、全力で取り組む所存です。どうかよろしくお願ひいたします。

さして、橋本会長のもと、「つながり」をもつて伝えることも重要なことです。この一年間、副会長として、会員の方針の中で示されています。

皆様の現場からのご意見や感想がしっかりと吸収できるよう努めていきたいと思います。どうか皆様のご協力をよろしくお願いします。

さして、橋本会長のもと、「つながり」をもつて伝えることも重要なことです。この一年間、副会長として、会員の方針の中で示されています。

で、新学習指導要領の先行実施や新教育課程の実施も見据えた、教育条件改善対策要望活動に努力したいと思っています。

三つ目は、各支部の校長会とのつながりです。県小学校長会が、「存在感のある校長会」「あつて良かった」と思える校長会」になるためには、何よりも、「島根の子どもたちのために」という共通意識で、結束・連携を深め、一致団結した活動を展開していくことが大切だと考えています。

この一年間、副会長として、会員の方針の中で示されています。

皆様の現場からのご意見や感想がしっかりと吸収できるよう努めていきたいと思います。どうか皆様のご協力をよろしくお願いします。

さして、橋本会長のもと、「つながり」をもつて伝えることも重要なことです。この一年間、副会長として、会員の方針の中で示されています。

皆様の現場からのご意見や感想がしっかりと吸収できるよう努めていきたいと思います。どうか皆様のご協力をよろしくお願いします。

二つ目は、県教育委員会、県中学校長会、中国地区小学校長会とのつながりです。こうしたつながりを深める中

昨年度、市郡理事として初めて県小学校長会に出席させていただくとともに、諸活動に直接関わさせていただく

ことができました。また、常任理事としての任期が一年間あったこともあり、毎年八月に開催される島根県教育委員会との懇談会では、「特別支援教育の現状と課題」をテーマに、現任校や市における取組の現状や課題等について話題提供をさせていただく機会も与えていただきました。他市郡の状況等についても知ることができ、また、直接に県教育委員会の方々と意見交換することができたことは、とても有意義な時間であり、またとない貴重な場となりました。

全てのことがそうであると思いますが、自分が直接に関わることで、初めて気づくことや見えてくるものがたくさんあるように思います。今年度は、副会長という大きな役割をいただき、はたしてその責務を十分に全うできるだろうかという不安ばかりが大きい現在ではありますが、全連小総会や中国地区の理事会への参加など、新たな学びの場での活動を通して、自分自身を高めていく努力を続けていくとともに、学びの内容を確実に伝え広げていくことができる副会長となれるよう取り組んで行きたないと考えています。

最後になりましたが、橋本新会長をはじめ新役員、事務局、各市郡理事の皆さんとともに、島根の小学校教育の充実と校長会の活性化のために、この一年を「またとない好機」と捉えて取り組んで行きたいと思います。

平成二十九年度 島根県小学校長会

事業計画

*島根県小学校長会

- (1) 活動の具現化、事業の推進を図るための会議の開催、関係団体の会議へ出席する。

- ① 理事・評議委員会(1回)、理事会(3回)、常任理事会(1回)を開催する。

- ② 理事会は、総務、調査研究、対策、広報の4部会を構成して事業を推進する。

- ③ 第3回理事会の中での懇談会と、会員との懇談会を実施する。

- ④ 県の各審議会等に関係団体として参加し、小学校教育の立場から意見を反映させるとともにその目的達成に寄与する。

- ⑤ 全連小とのつながりを保つとともに、本県の意見も反映させる。

- ⑥ 全連小の個人権教育担当者会(5回)に参加し、対策・調査研究にあたる。

- ⑦ 「小学校時報」を購読するとともに、教育研究シリーズの購読を促進し自己研鑽を深める。また、全連小の考え方や新しい教育情報や教育改革の動向、全国の校長会の活動を迅速に伝える「全連小報」を活用し、学校

する。また、HP開設に向けての準備を行う。

(5) 教育計画や教育活動の記録等、日々の教育実践の効率化を図るために、「教育記録」の編集を行い、定期的に改訂していく。

(1) 全国連合小学校長会と連携して教育課題を究明し、課題解決にあたる。

(2) 中国地区小学校長会と連携し教育課題を究明し、課題解決にあたる。

(3) 中国地区小学校長会と連絡協議会(1回)、理事会(2回)に参加し、連絡調整を図る。

(4) 全国連合小学校長会と連携し、陳情・要望活動・実態調査活動を行う。

(5) 平成30年度「中国地区小学校長教育研究大会島根大会」の開催に向けて、中国地区小学校長会との連携を密にしながら、大会運営やスケジュール等の計画を段階的に作成していく。

経営に生かす。

(4) 全国連合小学校長会と連携し、陳情・要望活動・実態調査活動を行なう。

(2) 中国地区小学校長会と連絡協議会(1回)、理事会(2回)に参加し、連絡調整を図る。

(1) 理事会・連絡協議会(1回)、理事会(2回)に参加し、連絡調整を図る。

- (4) 本会の諸活動を記録し、会員の研修と連携を目的とした「校長樹林」(年1回)、「校長会報」(年3回)を発行

- (3) 第59回島根県小学校長会研究大会(益田大会)を開催する。

- (3) 本県教育の充実を図るために、小・中学校が合同して教育条件改善対策委員会を立ち上げ、関係機関と連携を密にしながら教育条件の改善・充実に努める。

- (4) 本会の諸活動を記録し、会員の研修と連携を目的とした「校長樹林」(年1回)、「校長会報」(年3回)を発行

平成29年度 島根県小学校長会 負担金基礎資料

H29.4.1 現在

市郡	基礎数		一般会計負担金	特別会計負担金	総計
	学校数	専任教員数	学校割		
松江市	34	33	924,000	330,000	1,254,000
安来市	17	17	476,000	170,000	646,000
出雲市	37	36	1,008,000	360,000	1,368,000
雲南市	15	15	420,000	150,000	570,000
仁多郡	10	10	280,000	100,000	380,000
飯石郡	4	4	112,000	40,000	152,000
浜田市	16	16	448,000	160,000	608,000
大田市	16	16	448,000	160,000	608,000
江津市	7	7	196,000	70,000	266,000
邑智郡	11	11	308,000	110,000	418,000
益田市	15	15	420,000	150,000	570,000
鹿足郡	9	9	252,000	90,000	342,000
隠岐郡	10	10	280,000	100,000	380,000
計	201	199	5,572,000	1,990,000	7,562,000
一般会計		学校割	28,000円	特別会計	10,000円

※小中一貫校(校長1名配置)の取り扱いについて

負担金(一般会計、特別会計、臨時会費等)は所属する籍の校長会へ納付する。

【H29年度：2校⇒松江市：八束学園(一貫校)、隠岐郡：知夫小中】

はじめまして

新任校長より

これまでの恩返しを 子どもたちに向けて

田 中 宜夫

(安来市立宇賀荘小学校)



自然と人情が豊かな
地区にある秋鹿小学校で、
地域の特色を生かした
教育活動に取り組んでいます。

吉刹雲樹寺や清水寺を校区にもつそん
な素敵なところに宇賀荘小学校があり
ます。これまで、たくさんの方々の手
で育てられ、守られてきたよき伝統が
脈々と息づいていることを強く感じま
す。

古代出雲「王陵の丘」を
いただく安来市荒島で、
素直で元気な子どもたちと
毎日楽しく過ごしています。



(荒島小学校)
大谷 淳司

地域のみなさんのパワーに
圧倒される毎日です。
気負わず、自分らしく
「楽しい学校、元気な学校」を
めざします。

校報のタイトルは
「比田小の風」。学校・地域に
吹く心地よい風の中で、
自分らしさを出して
がんばります。

子どもたち一人一人に
よりそい、輪(組織)で支えて
いきたいとの思いから、
「しえんの輪・よりそう心」を
合ひ言葉にがんばります。



(比田小学校)
曾田 淳史



(井尻小学校)
高橋 和弘



(山佐小学校)
八澤慎一郎



(鹿島東小学校)
廣江 俊二



(秋鹿小学校)
越野 和胤

天気が良く
出張のない日は、往復17kmを
自転車通勤しています。
明るく元気にモットーに邁進します。

北浜小の自慢の一つ 「きたはま水族館」



森

(出雲市立北浜小学校)

弘

海から数十mと
いう立地を生か
し、北浜小学校
内には、なんと
水族館がありま
す。

す。今から二十四年前、当時の保護者
の方々によつて、海水の循環設備が整
えられ、大小十ばかりの水槽等に、イ
シダイ、イワシ、ウニ、サザエ、サメ
など約三十種類、三百匹程の十六島湾
近郊の生き物がいます。

児童に見せてやりたいと地域の漁師
さん方からその都度いただいたり、児
童が自分たちで釣つたり捕まえたりし
た生き物です。

水族館には学級の水槽もあり、児童
らは自ら進んで名前、特徴等を調べ、
エサやりや掃除などの世話をしていくま
す。また、保護者や地域の方々も来校
の度に水族館を覗き、高い関心をもつ
てくださっています。

「水族館を生かすも生かさないも管
理職しだい」と、前任の校長先生か
ら引継を受けました。これまでしつか
りと引き継がれてきたプレッシャーを感じながらも、そのプレッシャーを励
みにして、水族館をより貴重な学習の場としていくよう取り組んでいきたい
と思っています。

お近くに来られた際には、ぜひ、「き
たはま水族館」においてください。

島根県の東南の角、
鳥取県境の赤屋小学校に
赴任しました。

「笑顔あふれる元気な
赤屋小学校」を目指して
がんばります。



(赤屋小学校)
山中 容子



(海潮小学校)
天野 繁美



(赤屋小学校)
山中 容子

自然豊かな小規模校に
赴任し、人懐こい
子どもたちのために精一杯
仕事に打ち込みたいと
思っています。



(布勢小学校)
原 元宏

(吉田小学校)
坂田 英則

「たくさんの夢をもち、
ふるさとを愛する
子どもたちを育てます」

学校スローガン

「とびきりの 笑がお
かがやく みんな」の
達成をめざし、日々
努力を重ねていきます。



(志々小学校)
藤原 幹夫



(阿井小学校)
飯塚 積

保護者・地域の方と
「チーム阿井」として、
『あいのある学校』をつくり、
キラリ輝く阿井っ子を育てます。

「主体性と自己有用感の育成」を
スローガンに、児童17名
教職員8名で一日一日を大切に
歩んでいきます。



(島上小学校)
長谷川勝一

未来を拓く 子どもたちのために

岡 崎 博 文



(大田市立池田小学校)

赴任校は、島根
の名峰三瓶山の
麓に位置する全
校児童二十七名

の学校です。家族的な雰囲気の中で、
市の基本理念である『わが里を誇り、
大田と世界の未来を拓く』子どもの育
成にあたっています。

市は、重点目標の一つに「教育の魅
力化」を掲げています。地域の特色を
活かした教育環境等の充実を通じて教
育の魅力を高めることをねらいとする
ものです。本校は、全国表彰されるほ
ど活発で協力的なPTA活動、地域か
ら子どもたちに脈々と受け継がれてい
る伝統芸能の田植え囃子等、豊かな教
育資源に溢れています。それらを活か
しつつ、来る学習指導要領改訂に向け
た準備にも取り組まねばならないと思
っています。

諸先輩から頂いた「あなたらしい校
長をめざして」というアドバイスを心
に刻みながら、家庭・地域と協働し、
未来を担う人材の育成に邁進する所存
です。

子どもたちや保護者、
地域の方にも温かく
迎えていただき、決意を
新たにしております。
よろしくお願いします。

(高山小学校)
千原 一弘(口羽小学校)
西田 明弘

毎朝笑顔で子どもたちと
挨拶を交わしています。

元気に登校し、楽しく学んでいく
子どもたちを育てます。

(瑞穂小学校)
鳥内 博

「やればできる
先手必勝の明るい挨拶」
を目指して頑張ります。

(日貴小学校)
樋野不二子(高津小学校)
大橋 大

自然豊かな鎌手の地で、
子どもたち、職員、
地域のみなさんが、
元気になるような学校を
を目指して頑張ります。

(鎌手小学校)
小田 公弘

全校15名の小学校です。
家庭や地域、中学校と
連携して元気のある
学校を目指します。

(真砂小学校)
塚田 英樹

地域の宝である子どもたちが
安心して自分の力を發揮できる
「元気で明るい学校」を目指し、
誠心誠意努めます。



(西益田小学校)
渋谷 秀文



(豊川小学校)
伊津 洋士

「コミュニティスクール豊川小に赴任しました。子ども、家庭、地域、職員、みんなが元気になる学校を目指します。



富 田 誠一
(津和野町立木部小学校)
私の校長職は、平成二年度から七年度に勤務していた、木部小

学校でのスター

トとなりました。学校に赴任すると、周りの野山の景色、校舎の外観、校庭などいろいろなものが昔のままに見え、とても懐かしく感じましたが、変わっていたのが児童数です。当時七十人くらいいたのですが、十八人ととても少なくなっていました。

しかし、始業式で校歌を聞き驚きました。二十二年前と同じくらい、いやそれ以上に元気な歌声を聞かせてくれたからです。一人一人が人数の少なさを補うように元気いっぱい歌つている姿に感動しました。そして、一緒に校歌を歌いながら歌詞に綴られた言葉の中に学校の果たすべき役割が表されていることに改めて気づかされました。

「氣高く豊けき心もて」「伸びよもろとも」「励めもろとも」「磨けもろとも」といったフレーズはまさに今年度めざす児童像「支え合う子」「伝え合う子」 「たくましい子」に重なります。校歌に歌われているような子どもたちの育成をめざして、誠心誠意取り組んでいきたいと思います。



(蔵木小学校)
松元 善生



(柿木小学校)
寺戸 和泉

人生初めての小学校勤務です。新たな出会いと豊かな体験をさせていただいています。毎日が新鮮です。



吉 田 貴 弘
(海士町立福井小学校)
朝、玄関前で一

人一人の児童と挨拶を交わすのが、私の一日の始まりです。

児童がまだ登校する前に私の眼前に広がるのは、朝日に碧く煌く諏訪湾と青葉の覆う金光寺山です。この風景のコントラストを見る度に、隠岐で生まれ育った私はふるさとを感じ、元気が出ます。毎日登校する子どもたちも、きっとこの当たり前にある隠岐の自然に元気をもらっているに違いありません。

今年度から海士町の施策で島留学が始まりました。本校にも東京都からの児童が通学しています。学期初めに保護者と話す機会がありました。「東京の自宅では、家の中で大きな声で話すことものはばかられます。家の中で大きな声で話すことができるだけでも子どもたちにとつて幸せです。」身近に当たり前のようにある隠岐の環境が、魅力ある教育の原点であると考えています。グローバルな人材を育てる為に、まずは、ふるさとの地につかりと足を置いた児童を育てたいと思っています。

ふるさと教育を確に

学校紹介

ふるさと「もり」

米田靖幸
(安来市立母里小学校)

太町の「母里」の地にあります。母里という地名の由来は『出雲国風土記』に大国主命が「この地を自らの魂を静かに留める國として、いつくしんで守つていく。」とおっしゃったことに基づいており、「守」の文字がいくつかの変遷を経て現在の「母里」の文字になつたとのことです。そして、「もり」の地名には、大国主命の言葉に、「大事な宝物のように愛し、いつくしみ、正しい地となるように守つていく」とあり、まさに本校がめざす教育の理想が含まれているように感じています。

また、母里小学校の校歌の最初には「青垣山の神社（もり）のかげ」とあります。これは、青垣神社に祭られている大国主命に守られ、そのおかげで今学校があるという意味ということで、本当にありがたい気持ちになります。そして、校歌の一番には「神の徳」、二番には「身の力」三番には「物の則」とあります。母里小学校では、今から百年以上も前から、知徳体の生きる力をバランスよく育てることの大切さをうたつており、未来に向けての先見性

母里小学校の子どもたちは、あるさとの伝統や人々に見守られながら、すくと育つている「もうりつ子」です。



母里小学校は、歴史の古い安来市伯太町の「母里」の地にあります。母里という地名の由来は『出雲国風土記』に大国主命が「この地を自らの魂を静かに留める國として、いつくしんで守つていく。」とおっしゃったことに基づいており、「守」の文字がいくつかの変遷を経て現在の「母里」の文字になつたとのことです。そして、「もり」の地名には、大国主命の言葉に、「大事な宝物のように愛し、いつくしみ、正しい地となるように守つていく」とあり、まさに本校がめざす教育の理想が含まれているように感じています。

があり、学校の意義や使命を表していきます。

母里小学校では、各学年で母里の町に飛び出し、神代の時代からの歴史や伝統、現在の特色ある産業や特産物などについて、地域の「人・もの・こと」から学んでいます。

毎年春には全校のたてわり班で、母里や伯太町の地域を歩きながら、一年生から六年生までが仲良く、力を合わせてゲームやクイズに挑戦する「ふるさとウォークラリー」を行っています。

今年は、交流センターの方、地域の方に歴史クイズや伯太町クイズを出題していただき、みんなで考え、歴史や特色について教えていただきました。

の高木潤教諭の指導監修のもと「座る・見る・聞くエクササイズ」に取り組んでいます。継続・実践することでの少しずつですが、姿勢や集中力に改善がみられています。

「神話とたらの里」奥出雲町は、日本遺産「出雲國たら風土記」の認定や映画「たたら侍」の公開で注目されています。横田小学校は、神話の舞台である船通山を東側に仰ぎ見ることができます。裏手には斐伊川が流れる横田盆地のちょうど中央に位置しています。本校の合言葉は、「げんき えがお すなお」で、この合言葉をもとに様々な教育活動を推進しています。まず「げんき」では、児童は全員徒步通学をし、校門前ではいつも元気のよい挨拶をしています。学習中の姿勢の高木潤教諭の指導監修のもと「座部附属学校学習生活支援研究センター」

さらに、地元の有志の方々により、横田小学校の北側にある戦国時代の藤ヶ瀬城の跡地を国蝶である「オオムラサキ」が飛び交う自然公園にしようと、する町おこしが始まりました。オオムラサキの幼虫を飼育し藤ヶ瀬で放蝶する活動に横田小学校児童も参加し地域貢献をしたいと考えています。

横田小学校の合言葉「げんき えがお すなお」は、PTAや地域の活動にと広がりつつあります。

えたもので、大会参加者に大好評を博しました。

協力を得る
成し家庭の
という成果
をあげまし
た。大会当
日、の弁当
は、昨年度
の6年生が
地元の食材
をふんだん
に使つた弁
当メニュー
の原案を考
えたもので
しました。
最後に「
もに行つて
ウォーキ」
雲神話コー
と横田の名
班長である
ふるさと横
田の名
です。

さらに、
横田小学校
ケ瀬城の跡
サキ」が飛
する町おこ
ラサキの幼
る活動に横
貢献をした
横田小学
お す な お
にと広がり



事務局だより

事務局長 金山美幸

(松江市立城北小学校)

今年度、事務局長を務めさせていただくことになりました。微力ではございますが、本会の充実と発展のために努力してまいります。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申しあげます。

さて、この「事務局だより」では、本会の事業の様子を会員の皆様にお伝えし、情報提供の場といったします。

今回は、第一回理事評議員会の様子や、今年度の研究大会の概要等をお知らせします。

一 第一回理事評議員会

四月二十八日(金)、サンラポーむらくもにおいて開催し、前年度の事業報告と役員改選、今年度の活動方針、予算等について審議し承認されました。

橋本健司会長からは、「つながり創る未来への礎、今しまねの子供たちに」をスローガンとし、活動の基盤や重点等が打ち出されました。

午前の議事の終わりには、前年度役員の代表としてお越しいただいた古川康徳前会長、立脇昭一前副会長へ全連小並びに本会からの感謝状の贈呈が行われ、橋本会長からこれまでのお二人のご尽力に対して、感謝の気持ちを表

す挨拶がありました。また、お二人からは励ましのお言葉を頂戴しました。なお、昨年度末にご退職された校長先生方全員へ、感謝状と記念品を事務局より直接郵送させていただきましたのでご報告いたします。

二 島根県小・中学校教育条件改善対策委員会総会

第一回委員総会が、五月十二日(金)サンラポーむらくもにおいて開催され、前年度の事業報告と今年度の役員報告、要望活動を中心とした今年度の活動内容、予算等について審議し承認されました。

役員は、次のとおりです。

・委員長 福島 浩(八雲小)

・副委員長 駒井 良一(玉湯中)

・副委員長 中村 次郎(大谷小)

・事務局次長 飯国 弘巳(美保関中)

福島委員長より、全国及び市町村校長会との連動性を重視するとともに、学校現場の状況把握をもとに具体的なデータを準備し、各市郡の要望結果を集約してより重点化・精選化した要望を、県教委と市町村教委等にお願いしていきたいとの方針が示されました。

四 全国連合小学校長会研究協議会 佐賀大会

十月十二日(木)・十三日(金)の両日、佐賀市にて開催されます。今回は分科会における本県からの発表は予定されておりませんが、二十三名が参加し、研修を深める予定です。

月開催予定の佐賀大会に対する厚い参加要請がありました。

また閉会式では佐賀県代表より、十

月、事務局長の五名が出席しました。長、事務局長の五名が出席しました。総会では、義家弘介文部科学副大臣の祝辞がありました。その中で、教育の矢面に立ち、日本の教育を汗を流しながら推進している全国の校長や全連小に対し、自らの言葉で熱いエールを送っていただきました。

六 島根県小学校長会研究大会 (益田大会)

大変お世話になります。

研修会では、文部科学省初等中等教育局より、学習指導要領改訂の基盤となる考え方やそのポイント、教職員定数の充実および学校現場における業務の適正化、いじめの防止等のための基本的な方針の改定等に対するきめ細やかな説明がありました。

また閉会式では佐賀大会参加に対する厚い準備等大変お世話になります。また、安来市、飯石郡、松江市には、提案発表でお世話になります。

七 今後の会議予定

①第一回常任理事会
六月二十三日(金)

②第二回常任理事会
七月二十五日(火)

③第三回理事会・県教委との懇談会
八月二十一日(月)・二十二日(火)

編集後記

緑輝く季節になりました。子どもたちの元気いっぱいの声が聞こえています。橋本新会長のもと、島根県小学校長会の今年度の活動が始まりました。広報部でも、会員同士のつながり場、情報交換の場等となるよう努めていきたいと思います。

ご多用の中、お世話くださいました理事の皆様、ご寄稿くださいった校長先生方、事の皆様、ご寄稿くださいった校長先生方の心よりお礼申し上げます。(角)

平成29年度 島根県小学校長会 役員表

役名	校長名	勤務校	役名	校長名	勤務校
会長	橋本健司	法吉		橋本健司	法吉
	高野芳雄	四絡	全連小理事	高野芳雄	四絡
副会長	山口和芳	津宮		山口和芳	津宮
	鈴木理生	古志原	全連小代議員	鈴木理生	古志原
監事	小滝伸一	伊野		橋本健司	法吉
	宮崎次光	能義	中国地区理事	金山美幸	城北

理事

市郡名	会員数 (学校名)	理事名	評議員名	対策委員名
松江	33	㊱ 山根宏之(持田)	安達卓生(母衣) 山崎敦史(乃木)	山崎幸春(生馬)
宍来	17	㊱ 荒金修(島田)	宮崎次光(能義)	㊱ 大谷淳史(荒島)
出雲	36	園山哲男(湖陵)	小瀧伸一(伊野) 松本泰治(北陽)	原一夫(西野)
雲南	15	星野幸雄(三刀屋)	勝田寛(斐伊)	森山雪美(鍋山)
仁多	10	㊱ 安部茂寿(横田)	飯塚頼寿(亀嵩)	㊱ 持田健司(三沢)
飯石	4	門脇巧(頓原)		㊱ 藤原幹夫(志々)
浜田	16	林康彦(雲雀丘)	中山隆(国府)	㊱ 杉野本智幸(石見)
大田	16	㊱ 大谷正利(大田)	石橋義正(長久)	㊱ 松原洋司(静間)
江津	7	佐田尾志おり(渡津)	安食徹(江津東)	㊱ 岡田和明(高角)
邑智	11	松川成治(矢上)	堀尾亮介(大和)	板倉宏(市木)
益田	15	秀浦真吾(安田)	森山斎(戸田)	原節夫(中西)
鹿足	9	㊱ 中田敦(六日市)	三上純子(日原)	寺戸和泉(柿木)
隱岐	10	㊱ 澤純子(西ノ島)	齋藤尚文(都万)	㊱ 谷口彰(北)

(会員数 199)

㊱印 常任委員会 理事

㊱印 教育条件改善対策委員会 理事

㊱印 小・中代表

事務局幹事

校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX	校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX
角真理	来待	広報	699-0405 宍道町上来待125	66-0051 FAX 66-0052	畠山直文	大野	広報・対策	690-0265 上大野町1826	88-2064 FAX 88-2986
女鹿田武	忌部	調査研究	690-0036 東忌部町915-1	33-2017 FAX 33-2361	中村次郎	大谷	対策	699-0205 玉湯町大谷299	62-0202 FAX 62-0118
藤井慎一	恵曇	広報	690-0323 鹿島町手結201	82-0065 FAX 82-0931	越野和胤	秋鹿	対策	690-0262 岡本町992-1	88-2007 FAX 88-3156
福島浩	八雲	対策	690-2103 八雲町西岩坂947	54-0009 FAX 54-0392	金山美幸	城北	事務局長 総務	690-0871 東奥谷町229	21-4944 FAX 21-4980
奥村忠孝	内中原	調査研究	690-0873 内中原町225	22-0300 FAX 21-0833	建岡浩子	事務局	事務局員	690-0886 母衣町55 島根県教育会館内	27-8530 FAX 67-3360